

令和元年度 公益社団法人 日本鍼灸師会 東海北陸ブロック会議

会場：三重県四日市市 プラトンホテル四日市

令和元年 10 月 19 日～20 日

令和元年 10 月 25 日
広報委員委員長 佐合基樹

令和元年 10 月 19 日～20 日に渡ってプラトンホテル四日市において開催された「東海北陸ブロック会議」に長谷川栄一会長、学術副部長高橋日出子先生と共に（一社）愛知県鍼灸師会広報担当として出席して来ました。

本年度より、行政区に合わせて「中部ブロック」から「東海北陸ブロック」に改編され、新たに愛知、岐阜、静岡、三重、石川、富山のブロック編成となりました。会議のテーマは「連携と協働」～目標実現に向けた環境整備～でした。10月19日14時30分より各師会長会議、その後15時30分より各県の代表によるブロック会議が開催され、三重県鍼灸師会会長の一見隆彦先生が議長となり、各県から提出された議案に対して各師会の現状や問題について様々な意見が交わされました。

18時より会場を移し意見交換会が行われ、食事と共に各々の交流を深め、会議の真剣な雰囲気とは異なる、和やかな場で鍼灸の将来や、日頃の臨床上の悩みなど、様々な話題に盛り上がりました。

翌20日は朝9時より会議が再開。始めに（公社）日本鍼灸師会の小川卓良会長によるスライドを使用した講演がありました。内容は、「目標と行動指針～国家・国民のために鍼灸の普及に努める～」として日本鍼灸師会の今後の方向性を示す内容でした。会長講演後、残りの議題について約3時間にわたり情報交換や意見交換が行われました。

二日間にわたる議題は、「会員の増加に対する取り組み」「受領委任後の動向」「災害連携」「IT化とEラーニング」「医療連携」など様々な内容で広範囲に及び、各師会での活動内容や日本鍼灸師会における取り組みなどが話し合われました。日鍼会、各師会ごとに考えがあり、地域により違いを感じる場面もありましたが、今後の鍼灸の社会における活躍の場の拡大には、鍼灸師の質の向上、医師や地域ケアシステムなどでの顔が見える関係などが必要と改めて感じました。



会議前に談笑する長谷川先生と高橋先生